

令和3年度

高松市美術館協議会資料

美術館美術課

目 次

令和2年度事業報告

1 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館	2
(2) 教育普及活動	5
(3) 芸術的催し物	12
(4) 施設の提供	12
(5) 美術資料の収集	13
(6) 美術館ボランティアの活動	14
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	14
(8) ブランチギャラリー	14
(9) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等	15
(10) SNSの活用	15

2 高松市塩江美術館

(1) 展覧会	16
(2) 美術講座等	17
(3) その他事業	18
(4) 美術資料の収集	18
(5) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等	18

令和3年度事業計画

1 高松市立美術館運営方針の改定	20
2 高松市美術館	20
3 高松市塩江美術館	24
4 令和3年度予算	26

令和2年度事業報告

令和2年度事業報告

1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 112,484人（開館日数 285日）

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

◎ 展覧会

開催展数：34展（第38回日本伝統漆芸展・貸館を含む）

開催延日数：594日間

入場者数：68,716人（1日平均 115.7人）

ア 特別展

開催展数：5展 開催日数：181日間 入場者数：37,962人（1日平均 209.7人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界	4/18(土) ～6/14(日) *4/22(水)～5/10(日) 臨時休館(17日間) *当初の会期は 4/18(土)～5/31(日)	33日	3,369	15組の絵本作家たちによる絵本の猫たちを紹介。原画やスケッチ、制作資料からは、作家の息づかいまでが伝わる。さまざまな色や形で表現された猫たちを通して、「絵」のおもしろさ、豊かさをお楽しみいただいた。
高松市美術館コレクション ^{プラス} 身体とムービング	7/23(木・祝) ～9/6(日)	40日	2,786	「身体(からだ)」と「ムービング(動き)」をテーマに、尼崎市が所蔵する優れた「白髪一雄コレクション」、庵治に最後のアトリエを構えた中園孔二や若手画家である近藤亜樹(札幌在住)のペインティング、そして、体育×美術×ダンスといった異分野がミックスした「んまつーポス」(宮崎在住、ダンスグループ)が展覧会に参加。当館所蔵作品からは、田中敦子《電気服》をはじめ、“具体”コレクションや絵画制作を一本のアニメーションにした石田尚志の《REFLECTION》(映像)などを紹介した。

世界が絶賛した浮世絵師 北斎展	9/12(土) ～10/18(日)	32日	21,864	江戸時代後期に活躍し、広重、歌麿、写楽などとともに世界が絶賛した浮世絵の巨匠・葛飾北斎(1760～1849)。本展では、《富嶽三十六景》など代表作のほか、北斎に魅せられたフランス人画家アンリ・リヴィエールによる《エッフェル塔三十六景》をあわせた約200点を展示し、北斎芸術の全貌に迫った。
高松コンテンポラリーアート・アンニアル vol.09/時どきどき想像	10/31(土) ～12/13(日)	38日	2,435	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度開催の現代美術のグループ展第10回目。「時間」をテーマに、招待美術家による想像力あふれる作品を展示。アーティストトーク等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信。出品作家：大西康明、蝸牛あや、保井智貴、井上佐由紀、後藤映則
野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI	2/6(土) ～3/21(日)	38日	7,508	樹脂やプラスチックといった素材を駆使して、鎧兜をまとったリアルな人物像を作り続ける野口哲哉(1980年高松生まれ)の大規模な個展。その作品は鎧兜や武具などの古いモチーフを用いながら、現代性や人間性を新しく浮かび上がらせるという、ユニークな手法に基づく。国内外から注目を集め続ける野口哲哉の世界を、初期からの代表作や新作の立体・平面により紹介した。
合計		181日	37,962	

イ 常設展

開催展数：4展 開催日数：275日間 入場者数：16,182人(1日平均 58.8人)

展覧会名	会期	日数	入場者数(人)	展覧会の内容
第1期	4/7(火) ～6/21(日) *4/22(水) ～5/10(日) 臨時休館(17日間)	49日	1,549	常設1 美術にみる動物たち 常設2 工芸にみる鳥と蝶
第2期	6/27(土) ～9/22(火・祝)	76日	4,382	常設1 New Collection ～現代アート編～ 常設2 New Collection ～漆芸編～

第3期	9/26(土) ～12/27(日)	80日	6,113	常設1 不安とともに 常設2 うるみ会 ～明日の漆芸をめざして～
第4期	1/5(火) ～3/28(日)	70日	4,138	常設1 画家の痕跡 常設2 讃岐漆芸に見る吉祥図 ※3/13(土)～3/28(日)の期間は、常設 展示室1において「第38回日本伝統漆 芸展」を開催。[1,735人]
合計		275日	16,182	

ウ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数3展 開催日数11日間 入場者数2,077人(1日平均188.8人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第47回高松市民美術展	4/7(火) ～4/12(日)	—	中止	
独立美術協会展	6/9(火) ～6/14(日)	—	中止	
創元会選抜展	6/16(火) ～6/21(日)	—	中止	
第12回一榮会書展	7/10(金) ～7/12(日)	3日	469	同会会員の書の作品
第62回墨華展	9/3(木) ～9/6(日)	—	中止	
第47回毎日書道学会	10/23(金) ～10/25(日)	—	中止	
第66回中・四国国立大学連合美術展覧会	12/18(金) ～12/20(日)	—	中止	
第50回香川県高校書道教員展	12/18(金) ～12/20(日)	—	中止	
第37回香川県高等学校総合文化祭美術・工芸展	12/24(木) ～12/27(日)	4日	804	県内高校生の美術・工芸作品
第37回香川県高等学校総合文化祭書道展	12/24(木) ～12/27(日)	4日	804	県内高校生の書の作品
高松市教育文化祭	1/8(金) ～1/11(月・祝)	—	中止	
香川県小中学校文化祭	1/8(金) ～1/11(月・祝)	—	中止	
幽源社香川書展	1/15(金) ～1/17(日)	—	中止	

第 24 回硯友展	1/19(火) ～1/24(日)	—	中止	
青澄書道展	3/27(土) ～3/18(日)	—	中止	
合計		11 日	2,077	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数 21 展 開催日数 127 日間 (※「狛犬展」の令和 3 年 4 月分会期は省く)

入場者数 12,495 人 (1 日平均 93.4 人)

※参考：4 展中止

(2) 教育普及活動

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、5 歳から大人まで幅広い世代を対象に各種ワークショップ等を開催した。

ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
4/18(土)	筒井大介(野分編集室・本展図録編集)	ニャー！展 記念講演会「猫絵本の作り方 編集の現場から」	中止
5/2(土)	きくちちき(本展出品作家)	ニャー！展トークショー 「絵本をつくるということ」	中止
7/26(日)	平井章一(関西大学文学部教授)	コレクション+展記念講演会「白髪一雄の“フットペインティング”の見どころ」	27
9/12(土)	中右瑛(本展監修、国際浮世絵学会常任理事)	北斎展 記念講演会 1 「北斎、波瀾万丈 90 年の人生」	47
9/20(日)※	石田智子(当館学芸員)	北斎展展示解説会 (2 回開催) 「北斎の生涯とその作品」	63
10/4(日)※	石田智子(当館学芸員)	北斎展展示解説会 「北斎の弟子たち、海を渡った北斎作品とリヴィエール」	48
10/17(土)	向井大祐(日本画家)	北斎展 記念講演会 2 「模写して探る、北斎の技」	50
10/31(土)	蝸牛あや、井上佐由紀、後藤映則、保井智貴、大西康明(本展出品作家)	アニュアル vol. 09 展 アーティスト・トーク 司会進行：尾形絵理子(当館学芸員)	34
2/6(土)	野口哲哉(本展出品作家)、玉屋喜崇(ギャラリー玉英)、牧野裕二(当館学芸員)	野口哲哉展 記念鼎談 「野口哲哉とは何か」	58
2/7(日)	野口哲哉(本展出品作家)	野口哲哉展 記念講演会 「野口哲哉、自作を語る」	51

参加延べ人数	378
--------	-----

※は北斎展ギャラリートークが新型コロナ対策により展示室内で開催できなかったことに伴い、その代替として実施した。

イ 館長講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内容	参加者数 (人)
6/6(土)	篠原資明 (当館館長)	シーズン8 「キャラクター の美術史」	レオナルド・ダ・ヴィンチ	38
7/4(土)			ジョルジョ・デ・キリコ	45
8/1(土)			ジャン・コクトー	43
9/5(土)			アンディ・ウォーホル	42
10/3(土)			村上隆と奈良美智	37
11/7(土)		シーズン9 「九鬼周造と美 の散歩」	いき	44
12/5(土)			風流	32
1/9(土)			情緒	25
2/6(土)			日本	31
3/6(土)			偶然	36
参加延べ人数				373

ウ ギャラリートーク

(ア) 特別展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界	担当学芸員	—	中止
高松市美術館コレクション ^{プラス} 身体とムービング	担当学芸員	2	[延べ33]
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09 ／時どきどき想像	担当学芸員	1	[20]
野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI	担当学芸員	1	[50]
参加延べ人数			[103]

(イ) 常設展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	開催日	担当者	参加者数 (人)
常設 1 期	5/9(土)	担当学芸員	中止
常設 2 期	9/5(土)	担当学芸員	[16]
常設 3 期	12/5(土)	担当学芸員	[11]
常設 4 期	1/16(土)	担当学芸員	[5]
参加延べ人数			[32]

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数 (人)
5/2 (土)	きくちちき(ニャー!展 出品作家)	どんな猫ができるかな	中学生以下	1階エン トランス ホール	中止
5/3 (日)	加藤休ミ(ニャー!展 出品作家)	クレヨンで描いた“ね このごはん”～ねこの えさをつくるよ!	小学生以下	中2階 こども+	中止
7/24 (金・祝)	んまつーポス (コレクション ^{プラス} +展 出品作家)	高松くっぴんりお	小学生	1階エン トランス ホール	8
9/6 (日)	飯川雄大 (特別企画展示出品作 家)	偶然を見つけよう!!	小学4年生 以上	中2階ロ ビー、高 松市立中 央公園	8
10/10 (土)	タイラコウ(創作版画 家)	浮世絵摺りを体験して みよう!(2回開催)	小学生以上	3階 講座室	延べ10
10/25 (日)	モーリエール瞳、松野 礼子(芸術士)	芸術士といっしょにお ばけをつくろう! (4回開催)	すべての方	中2階 こども+	延べ24
11/1 (日)	蝸牛あや(アニュアル展 出品作家)	自然の中で見つけたも のをよく見て、鉛筆で 描いてみよう	小学3年生 以上	3階 講座室	7
11/14 (土)	後藤映則(アニュアル展 出品作家)	時間のかたち	小学3年生 以上	1階講堂	6
11/21 (土)	保井智貴(アニュアル展 出品作家)	彫刻家の家	中学生以上	高松市 仏生山町 付近	6
12/20 (日)	当館学芸員	クリスマスカードをつ くろう!	小学生	中2階 こども ^{プラス} +	9
1/9 (土)	林葵衣(第4期常設展ゲ スト作家)	唇拓を体験してみよ う!	5歳以上	3階 講座室	8

3/13 (土)	当館学芸員	ブランチギャラリーワークショップ（ポップアップカードをつくらう）	すべての方	ブランチギャラリー	30
参加延べ人数					116

オ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数 (人)
8/16(日)	上野あづさ (美術家)	なんかすごい糸電話	5歳～ 小学3年生	3階 講座室	8
参加延べ人数					8

カ ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより中2階に新設された「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」において、様々なアートプログラムを開催。下記プログラム参加者数を含め、こども^{プラス}（こどもアートスペース）利用者数は**3,238**人であった。

毎週木・土曜日 12:00～16:00

プログラム内容	参加者数 (人)
ネコのお面をつくろう！	[79]
カラフル☆ミストスプレーアート！	[129]
木版摺りに挑戦！／北斎をマネてかいてみよう！／#高松市美術館三十六景	[469]
風船おぼけをつくろう／びりびりおぼけをつくろう	[26]
ソーマストロップをつくろう／毛糸で色ぬり	[167]
オーナメントをつくろう	[109]
手形アートをつくろう！	[158]
参加延べ人数	[1,137]

キ イベント（企画展・公開制作・パフォーマンスなど）

※[]は展覧会入場者数と重複

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数 (人)
7/23(木・祝)	んまつーポス (コレクション ^{プラス} 展 出品作家)	パフォーマンス 「空想オリンピック short version」 アフタートーク 司会進行：福田千恵 (当館学芸員補)	1階エントラン スホール	54
7/23(木・祝)～ 10/18(日)	飯川雄大(特別企画 展示出品作家)	特別企画展示「デコ レータークラブー知 覚を拒む」	1階エントラン スホール	延べ 15,053
7/25(土)、8/1(土)・2 (日)・8(土)・9(日)・ 10(月)・15(土)・ 16(日)・22(土)・ 23(日)・29(土)・ 30(日)、9/5(土)・6(日) (全14回)	—	近藤亜樹(コレクシ ョン ^{プラス} 展出品作家) 作 映画《HIKARI》 (2015年)ループ上映	1階講堂	延べ444
9/5(土)	飯川雄大(特別企画 展示出品作家)	アーティストトーク 「知覚を拒む」 司会進行：橘美貴(当 館学芸員)	1階エントラン スホール	40
11/3(火・祝)・7(土)・ 14(土)・ 20(金)・21(土)・ 22(日)・28(土)、 12/5(土)・11(金)・ 12(土)・13(日) (全11回)	保井智貴(アニュー アル展出品作家)、美 術館ボランティアc i v i (シヴィ)	連携企画展示 「まちにある家とい う彫刻」 保井智貴の作品をオ ルタナティブスペー ス(仏生山町)で鑑賞	高松市仏生山 町近辺	延べ70
1/9(土)	林葵衣(第4期常設 展ゲスト作家)	林葵衣 公開制作	1階常設展示 室1	[25]
2/5(金)	野口哲哉(本展出品 作家)	内覧会(野口哲哉展 — THIS IS NOT A SAMURAI)	2階展示室	[30]
参加延べ人数				15,661[55]

ク 出前講座等（館外でのアウトリーチ活動等）

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数 (人)
6/29(月)	毛利直子 (当館学芸員)	ローカルとグローバルを結ぶ：高松市美術館と瀬戸内国際芸術祭	高松大学（2 講義）	200
10/7(水)	早川美穂 川染奈緒 (当館学芸員補)	アートで遊ぼう！	鬼無コミュニティセンター	4
11/30(月)			香川県建設労働組合	19
12/11(金)			役戸コミュニティ広場 「ふれあい会」	17
1/6(水)			アフタースクール香川	30
1/11(月・祝)			かがわ総合リハビリテーション福祉センター	9
1/17(日)	毛利直子 (当館学芸員)	令和2年度せとうち島旅ガイドスキル強化研修講演会 「市美術館の歴史から見る高松今昔アート」	瀬戸内こえびネットワーク事務局	27 (オンライン)
3/9(火)	当館学芸員補	アートで遊ぼう！	香南老人介護支援センター	中止
参加延べ人数				306

ケ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施されなかった。

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校 5 校、延べ 212 人であった。

コ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数 (人)
11/15(日)	「先生のための鑑賞プログラム」に参加した高松市内等の教員	アニュアル展の内容や美術館活用の紹介とともに、グループワークを通じた鑑賞を体験してもらった。授業活用のため、教員に限り当日は「無料鑑賞デー」とした。	1 階講堂 2 階展示室	10
1/5(火) ～3/28(日)	高松市立高松第一高等学校放送部	第4期常設展示作品の「ポケット学芸員」音声ガイドを製作した。	常設展示室	7
参加延べ人数				17

サ 美術館の日

平成 21 年度から 8 月第 1 土曜日を「美術館の日」と定め、令和 2 年度は、8 月 1 日（土）に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者[336 人]、常設展観覧者[248 人]、ふらっとアート参加者[36 人]、映画「HIKARI」上映参加者[54 人]など[674 人]の利用者（全て内数）があった。

シ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等（延べ 11 人）

博物館実習については、立命館大学ほか 3 大学から博物館実習生 5 名を受け入れた（7/28～8/2）。また、徳島文理大学「博物館展示論」で 6 名を受け入れた（9/2）。

ス 美術館友の会イベント

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、友の会イベントを全て実施しなかった。

セ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会作品解説、また簡単な作品作りや講演会や館長講座を動画配信した。

※令和 2 年 5 月 28 日より公開

	公開日	配信本数	全番組視聴数合計 (公開月)
4 月	—	—	—
5 月	5/28～5/31	5	262
6 月	6/1～6/30	8	1,081
7 月	7/1～7/31	5	1,038
8 月	8/1～8/31	8	1,768
9 月	9/1～9/30	2	1,628
10 月	10/1～10/31	2	1,509
11 月	11/1～11/30	3	687
12 月	12/1～12/31	2	921
1 月	1/1～1/31	1	1,356
2 月	2/1～2/28	2	1,372
3 月	3/1～3/31	5	1,820
合計		43	13,442

ソ 託児サービス

未就学児の保護者が展覧会を楽しむため、託児サービスを実施した。

開催日		参加者数 (人)
特別展「北斎展」の会期中	9/19 (土)	7
	10/9 (金)	6
合 計		13

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数 (人)
ミニコンサート	5/23 (土)	猫と戯れる音楽家たち	演奏：宮本早苗、稲垣泰子、西浦弘美、三井菜奈生、大山まゆみ	絵本原画ニャー！ 猫が歩く絵本の世界	中止
	9/26 (土)	異文化への憧憬	演奏：秦直樹、長岡佐和 監修：青山夕夏(香川大学教授)	世界が絶賛した浮世絵師北斎展 師とその弟子たち＝北斎からアンリ・リヴィエールまで	36
	11/28 (土)	刻まれる時の中で変容する空間	波多翼	高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09 / 時どきどき想像	34
参加延べ人数					70

イ 美術館友の会との共催によるエントランスホール催し

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、友の会イベントを全て実施しなかった。

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。

また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	5 回	225 人
講座室	364 回	5,205 人
美術図書コーナー	260 日	4,493 人
合 計		9,923 人

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
令和2年度	購入	7	—	2	1	—	10
	寄贈	—	—	—	—	—	—
合計		7	—	2	1	—	10
累計		801	46	270	573	16	1,706
内訳	購入	651	24	238	395	12	1,320
	寄贈	150	22	32	178	4	386

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	126	148	—	274	32,677
展覧会図録	17	481	—	498	19,406
合計	143	629	—	772	52,083

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名 (制作年)	作家名
購入	平面(油彩)	無題 (2012~2013 頃)	中園 孔二
		無題 (制作年不明)	中園 孔二
		おしるし (2020)	近藤 亜樹
		きらきらひかるひと (2020)	近藤 亜樹
	平面(映像)	HIKARI (2015)	近藤 亜樹

購入	平面（油彩）	CAT WALK 2020（2020）	野口 哲哉
		21st Century Light Series ～The Tap～（2020）	野口 哲哉
	立体（彫刻）	WOODEN HORSE（2020）	野口 哲哉
		toki-NUMBERS #01（2017）	後藤 映則
	工芸（漆芸）	供養之図 衝立（1933）	磯井 如真

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i（シヴィ）を設置し、平成 11 年度から活動を行っている（令和 2 年度登録者数 15 人）。令和 2 年度は、特別展のギャラリートークや、北斎展で導入した「ポケット学芸員」の音声ガイドを担当するほか、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。また、図書整理ボランティア 1 名が図書整理補助を行った。

イ ギャラリートーク

※[]は展覧会入場者数と重複

特別展	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
絵本絵画ニャー！猫が歩く絵本の世界	美術館ボランティア	—	中止
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.09／時どきどき想像	美術館ボランティア	6	[84]
野口哲哉展—THIS IS NOT A SAMURAI	美術館ボランティア	8	[253]
合 計		14	[337]

※コレクション^{プラス}展と北斎展は、ボランティアによるギャラリートークの計画を見送った。

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

平成 24 年度に、会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を開始した。

また、平成 25 年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用者がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。令和 2 年度の参加店舗は、126 店舗。

(8) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和 3 年 3 月 13 日に開設した。オープニング展示は、当館所蔵作家である藤浩志の《1 億 5000 万年前から受け継がれる》（2017 年）を中心に、作家本人がインスタレーションするほか、展覧会ポスターや動画により高松市美術館と高松市塩江美術館を紹介している。

(9) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等

ア 臨時休館 令和2年3月31日(火)～4月5日(日)、4月22日(水)～5月10日(日)

イ 臨時休室 美術図書コーナー：令和2年3月5日(木)～5月24日(日)

こども^{プラス}（こどもアートスペース）：令和2年3月5日(木)～5月31日(日)

(10) SNSの活用

フォロワー数 令和3年3月31日現在

Facebook 836人

Twitter 457人

YouTube 179人

Instagram 1,794人

2 高松市塩江美術館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展等の利用に供した。

高松市塩江美術館の利用者数 10,891人（開館日数 290日）

(1) 展覧会

開催展数 10展（企画7展・常設3展）

開催延日数 513日間

入場者延数 10,675人（1日平均20.8人）

ア 企画展 開催展数：7展 開催日数：237日間 入場者数：5,159人（1日平均21.8人）

展覧会名		会期	日数	入場者数	展覧会の内容
1	Step on the Snow 三村昌道展	4/7(火) ～5/10(日) * 4/22～5/10 臨時休館(17日間)	13日	171	香川に制作拠点をおく三村昌道(美術家)のシルバーの絵具を用いた新作を中心に紹介。
2	—植物を彫る— 木版画展	5/16(土) ～6/13(土)	25日	364	身近な自然の植物に目を向け、植物の特徴をとらえ制作された池田利夫の木版画を当館コレクションから紹介。
3	—揺らめく光の中へ— 馬淵晃子展	6/30(火) ～8/10(月・祝)	37日	953	香川県在住の馬淵晃子が描く、ゆったりと穏やかな時間の経過を、繊細な描写で表現した作品を紹介。
4	こころの奥にある風景 —原風景を訪ねて—展	8/18(火) ～9/22(火・祝)	32日	711	当館のコレクションの中から、“こころの故郷”へと立ちかえる、懐かしみの感情に誘われる作品を紹介。
5	岩とイワ展	9/29(火) ～11/8(日)	36日	1,294	陶芸家・及川みのると写真家・上樂博之によるインスタレーション作品を紹介。
6	鉛筆淡彩画 —伊東義久の世界—	11/21(土) ～1/17(日)	44日	933	香川県出身の伊東義久が描く水彩による鉛筆淡彩画作品26点を紹介。
7	ゆったりしま書♪	1/30(土) ～3/28(日)	50日	733	書家の墨跡から書のみかた、新たな書の楽しみ方を当館コレクションから約25点紹介。
合計			237日	5,159	

イ 常設展 開催展数：3展 開催日数：276日間 入場者数：5,516人（1日平均20.0人）
美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

展覧会名	会期	日数	入場者数	展覧会の内容
前年度第Ⅲ期 ※ 感性との出会い！	4/1(水) ～4/12(日) *会期は令和2年 12/15(火)から	11日	133	画面全体から感性があふれる四宮金一、マルク・ジャガール江戸健の作品を紹介。
第Ⅰ期 民話と拓本	4/18(土) ～8/16(日) *4/22～5/10臨時休館 (17日間)	87日	1,553	塩江の説話を書き記した「塩江の民話」の挿絵と美術館周辺の句碑の拓本作品を紹介。
第Ⅱ期 リズムを奏でる作品たち	8/22(土) ～12/6(日)	92日	2,660	作家たちのアプローチにより生み出され、多様なリズムを奏でる作品を紹介。
第Ⅲ期 ※ 光に魅せられた画家 熊野俊一	12/15(火) ～3/31(水) *会期は令和3年 4/11(日)まで	86日	1,170	熊野俊一が、欧州の光に魅せられて描く風景画などを当時の資料と共に紹介。
合 計		276日	5,516	

※年度をまたいでの開催(年度毎の実績)

(2) 美術講座等

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講した。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内 容	参加者数
アーティストレクチャー	4/19(日)	三村昌道	出品作品解説	中止
企画展関連ワークショップ 「マスキングインクで遊ぼう！」	4/26(日)	三村昌道	大きなロール紙にマスキングインクでとアクリルで作品制作	中止
企画展関連公開制作	展覧会開催 期間の土日 (全4回)	三村昌道	企画展出品作家による公開制作	延べ10人
アーティストレクチャー	7/25(土)	馬淵晃子	出品作家による展示作品解説	44人
合 計				54人

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内 容	受講者数
夏の風鈴づくり教室	8/22(土)・ 23(日)	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作。各日2回。	38人 (22日18人) (23日20人)
陶芸教室	9/19・26, 10/3・ 10・17・24・31, 11/14 (各日土曜日)	田淵 太郎 (陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。	延べ64人 (各日8人)
合 計				延べ102人

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供した。

貸出場所	行事名	会 期	入場者数	内 容
ホール	コンテンポラリーダンス(練習)	6/20(土)、6/21(日)	—	コンテンポラリーダンスの練習
ホール	コンテンポラリーダンス公演『pb』	11/13(金) (準備) 11/14(土)～11/15(日)	延べ 60人	かがわ文化芸術祭 2020 参加公演 コンテンポラリーダンス公演 (2日間・入場料有)
合 計			延べ 60人	

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

令和2年度は実績なし

ウ 美術館の日【8月1日(土)】 入場者数 [92人]

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来。平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施して、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に開催。

●ポストカード、ポスター・チラシで制作した袋の無料配布

(4) 美術資料の収集

ア 収集の方針

(ア) 香川県にゆかりのある作家の作品

(イ) 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

(単位：点)

区 分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和2年度	購 入	—	—	—	—	—	—	—
	寄 贈	7	—	—	—	—	—	7
累 計		673	7	12	13	119	459	1,283
内 訳	購 入	47	—	6	7	—	1	61
	寄 贈	626	7	6	6	119	458	1,222

※その他(写真、熊野俊一資料、藤澤東峯関連書籍、芸術祭作品)

(5) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等

ア 臨時休館 令和2年3月31日(火)～4月5日(日)、4月22日(水)～5月10日(日)

イ 臨時休室 常設展示室の図書コーナー：令和2年3月5日(木)～5月24日(日)

令和3年度事業計画

令和3年度事業計画

1 高松市立美術館運営方針の改定

平成27年度の高松市美術館大規模改修工事を受けて、平成28年4月に策定した「高松市立美術館運営方針」が、令和2年度をもって期間が終了することから、これまでの利用状況や新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ、新たに令和3年4月に、令和3年度から7年度までの5年間の方針に改定した。

新型コロナウイルス感染症により、国内外の美術館が休館を余儀なくされ、鑑賞手法や美術館の運営に影響があるものの、文化芸術がもつ価値や美術館が果たす役割そのものは変わるものではないことから、基本的な方針は現行のまま「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館を目指す。」とする。

令和3年4月改定における新たな主な取組（拡充も含む）

●ICTの活用 新たな美術体験事業（仮称）

・動画配信

美術館YouTubeチャンネルで作品解説等の動画配信（おうちでアート）を行い、新たな美術鑑賞等の機会を提供する。

・SNSの活用

令和元年度から実施している美術館独自のFB、インスタ等の活用により、効果的な情報発信を行う。

●瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の小中学校との連携強化

圏内の小中学校への展覧会案内に加え、美術館学習やオンライン授業等

●エントランスホールの活用

展覧会行事や友の会コンサート等に加え、関係団体等と連携したコンサート等

●キャッシュレス化

キャッシュレスに対応する観覧料等の納付方法の調査・研究

2 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
美術館に行こう！ ディック・ブルーナ に学ぶモダン・アートの楽しみ方	4/17(土) ～6/11(金) *5/4(火)～5/31(月) 臨時休館(23日間) *6/7(月)開館 *当初の会期は 4/17(土)～6/6(日)	26日	絵本作家でグラフィック・デザイナーのディック・ブルーナ(1927-2017)が生んだミッフィーは、世界中で愛される絵本の主人公。本展はミッフィーが初めてモダン・アートに触れる絵本の内容に沿って当館の所蔵作品を紹介するとともに、ブルーナが手掛けた膨大な作品や制作スタイルを体験できるコーナーを通して、彼の追い求めた表現に迫る。

ゆかたと藍の世界 展	7/17(土) ～8/29(日)	38 日	古くから日本で広く親しまれてきた藍。そして、その藍染と結びつきが強く現在の私たちにとっても身近な和装であるゆかた。本展では、「ゆかた」と「藍」をキーワードに、ファッションから現代アート作品まで紹介。世代を越えて多種多様に展開していく「藍」の世界を、藍染が用いられた江戸時代の「半臂」や武家のゆかた、両面に精緻な型染めをほどこした長板中形のゆかたの数々、さらに藍と絞りを素材に制作を続ける福本潮子（1945-）の作品など、多彩な作品により構成。
大・タイガー立石展	9/18(土) ～11/3(水・祝)	40 日	タイガー立石（1941-98）は、1960年代に時代のアイコンを多彩に引用した絵画により注目を集め、ナンセンス漫画家としても活躍。70年代はイタリアで漫画からヒントを得た絵画を描く一方、デザイナーや建築家との共作による様々な仕事を手がけ、85年からは日本に戻り98年に57歳という若さで亡くなるまで精力的な活動を続けました。代表作を中心に、ジャンルを縦横無尽に横断しユニークな表現活動を続けたタイガー立石の全体像に迫る。
大阪市立東洋陶磁 美術館所蔵 堀尾幹 雄コレクション 濱田庄司展	11/13(土) ～12/19(日)	32 日	いま、改めて注目を集める民藝。その代表作である陶芸家・濱田庄司（1894 -1978）は、イギリスや沖縄などの工芸を吸収しながら自身の作品を展開し、1955年に第1回重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。本展では濱田が栃木県益子に拠点を置いた中期以降の作品を大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の堀尾幹雄コレクションにより紹介。日常で使うことを念頭において収集された器の、暮らしとともにある健やかな美しさをご覧ください。
高松コンテンポラ リーアート・アニュ アル vol. 10	2/11(金・祝) ～3/21(月・祝)	34 日	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度の現代美術のグループ展。今回は、普段は可視化されない「境界線」をテーマに、森栄喜（1976年-）、ユアサエボシ（1983年-）、久保寛子（1987年-）、潘逸舟（1987年）、ウチダリナ（1990年-）の作品を展示。アーティストトークや、ワークショップ等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信。
5 展覧会		170 日	

イ 常設展

展覧会名	会期	日数	内容
第 1 期	4/6(火) ～6/20(日) *5/4(火)～5/31(月) 臨時休館(23日間) *6/7(月)開館	44 日	常設 1 現代の肖像 常設 2 磯井如真の軌跡
第 2 期	6/26(土) ～9/26(日)	80 日	常設 1 木村忠太 光の記憶 常設 2 工会 デザインの革新
第 3 期	10/2(土)～12/26(日)	74 日	常設 1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある 20 世紀以降の世界の美術を順次展示。
第 4 期	1/5(水)～3/27(日)	69 日	常設 2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。 ※3/12～3/27 の期間は、常設展示室 1 において「第 39 回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		267 日	

ウ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を開催するもの。

(ア) 講演会等の開催

(イ) アートアドバイザー講座「まぶさび教室」

アートアドバイザーによる講座を前期・後期で各 5 回開催する。

(ウ) ギャラリートーク

(エ) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

(オ) 子どものアトリエ

美術作家による子ども対象の美術講座を開催し、学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

(カ) こども^{プラス} (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども^{プラス} (こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

ウ 美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

エ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、「おうちでアート」として展覧会作品解説や簡単な作品作りを動画配信する。

(3) 美術館の日

多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、8月第1土曜日(8月7日)を「美術館の日」とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

(5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i (シヴィイ)によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

(6) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指す。

サポートショップ参加店舗を利用、又は訪問した際に「利用者割引券」を受け取り、特別展を割引料金(2割引)で鑑賞できる特典を設定する。また、参加店舗の一部においては、利用時に特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示すると、店舗独自の特典(商品割引等)が提供される相互割引を実施する。

令和3年度より、各商店街組合事務所の協力のもと、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシ等の一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努める。

(7) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。年間を通して特別展等と連携するなどして、多彩な展示を行う。

(8) SNSの活用

令和元年度から実施している美術館独自のSNS(Facebook、Twitter、YouTube、Instagram)の活用を継続し、効果的な情報発信を行う。

3 高松市塩江美術館

(1) 展覧会

ア 企画展

展覧会名		会 期	日数	展覧会の内容
1	Swing!Swing!! 大島よしふみ彫刻展	4/6(火) ～5/16(日) *5/4～5/16 臨時休館	25 日	彫刻家大島よしふみの十数年ぶりの個展。これまでの作品の他、「動くシリーズ」や「ゆれるシリーズ」 作品を紹介。
2	写真で紡ぐ	5/25(火) ～7/4(日) *5/25～5/31 及び 6/5～6/6、6/12～6/13、6/19～6/20 臨時休館	24 日	コレクションの中から、『しおのえ国際青年芸術祭』に出品された写真作品約 30 点を紹介。
3	線との対峙 杉本羽衣展	7/13(火) ～8/29(日)	42 日	地元香川を拠点に創作活動を行っている杉本羽衣の絵画を紹介。
4	第 35 回思可牟展	9/7(火) ～10/17(日)	36 日	香川県出身の京都市立芸術大学を修了した作家で結成された美術グループ「思可牟 ^{しかむ} 」の 35 回目の個展。
5	山口撰華 —存在の確認—	10/26(火) ～12/5(日)	36 日	香川県在住の染色家山口撰華の初個展。友禅染の着物、パネルなど約 15 点を紹介。
6	色彩の対比 (仮)	12/14(火) ～1/30(日)	37 日	コレクションから色彩に着目した作品紹介。
7	ルカ・ローマ展 (仮)	2/8(火) ～3/27(日)	42 日	香川県在住の彫刻家ルカ・ローマの作品を紹介。

イ 常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間 3 回の入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
前年度第Ⅲ期 ※ 光に魅せられた画家 熊野俊一	4/1(木) ～4/11(日) *会期は令和 2 年 12/15(火)から	10 日	熊野俊一が描いた風景画などを当時の資料と共に紹介。
第Ⅰ期 絵肌を見る	4/20(火) ～8/15(日) *5/4～5/31 及び 6/5～6/6、6/12～6/13、6/19～6/20 臨時休館	73 日	作品の絵肌に着目し、様々なジャンルの絵画を紹介。
第Ⅱ期 タイトル未定	8/24(火) ～12/12(日)	96 日	未定
第Ⅲ期 ※ タイトル未定	12/21(火) ～3/31(木) *会期は令和 4 年 4/10(日)まで	82 日	未定

※前年度及び次年度をまたいで開催(日数は年度毎の区切り)

(2) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講する。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容
「コーヒー染のコースターを作ろう」	5/1(土)	山口摂華	コーヒー染のコースターを作ります。
「サンドイッチ絵本を作ろう」	5/4(火・祝) 【中止】	相曽晴香	美術館周辺を散歩し、自分の思いをサンドイッチ絵本でつづります。
企画展関連ワークショップ 「Swing!するアートを作ろう」	5/5(水・祝) 【中止】	大島よしふみ	自分で描いた絵がフレームから飛び出し揺れるアート作品を制作。
アーティストレクチャー	7/22(木・祝)	杉本羽衣	出品作品解説
アーティストレクチャー	11/13(土)・ 23(火・祝)	山口摂華	出品作品解説
企画展関連ワークショップ (予定)	11/20(土)	山口摂華	未定

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容
風鈴づくり教室	7/24(土)・ 25(日)	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。1日2回開催。
陶芸教室	9/11・18・25 、10/2・9・16・ 23、11/6 (各日土曜日)	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催予定。

(3) その他

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

6月5日(土) 博物館実習施設見学(四国学院大学) 受入れ 学生5名及び引率1名

ウ 美術館の日【8月7日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来。平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除やワークショップを実施して、市民が美術館で一日有意義に過ごすことを趣旨として開催。

エ 美術館のデッキ等の貸出

4 令和3年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区分			令和3年度	令和2年度	対前年比
使用料及び 手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	31,249	30,661	101.9%
		美術館使用料	14,100	14,342	98.3%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	3	1	300.0%
	財産売払収入	物品売払収入	1,373	1,643	83.6%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	650	0	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	16,871	14,862	113.5%
市債	市債	美術館管理債	0	0	—
計			64,274	61,537	104.4%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年比
美術館運営費	37,767	32,248	117.1%
美術館管理費	114,426	118,527	96.5%
展覧会費	66,139	66,960	98.8%
美術教育普及費	1,561	1,469	106.3%
美術資料収集費	12,261	11,552	106.1%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	3	1	300.0%
計	232,157	230,757	100.6%